

老朽化する インフラストラクチャを 刷新するビジネスケース

パフォーマンスのギャップ。上昇するコスト。
機会の損失。インフラストラクチャの更新が
パフォーマンス、効率、自動化の向上に
重要である理由を説明します。

**3 コンピュートはイノベーションとオペレーショナル
エクセレンスを促進する触媒**

**4 モダナイゼーションがもたらすイノベーション:
レガシーインフラストラクチャが障害になる理由**

4 レガシーから出発点へ: イノベーションを解き放つ

4 よりサステナブルで無駄のない未来のために

5 HPE ProLiant Computeと技術的負債の削減

6 最新の多層保護はチップから始まる

**6 HPE Compute Ops Managementで
制御を手に入れる**

6 HPEとともに次のステップへ

7 HPEについて

コンピュートはイノベーションとオペレーションアルエクセレンスを促進する触媒

データからインサイトを得ることから、アプリケーションを推進し、ワーコロードを加速することまで、現代のITの中心にはコンピュートがあります。データの量が急増し、パフォーマンスとセキュリティの向上に対するビジネス上の要求が高まるにつれて、その重要性は増し続けています。ただし、コンピュートの役割は、アプリケーション、データ分析、およびその他のタスクに処理能力を提供するという点で本質的に変わっていないのに対し、企業がコンピュートを利用する方法は確実に変化しています。

現代の組織に必要なITインフラストラクチャは、単に時代に遅れないだけでなく、成長を促進し、ビジネスを前進させる力を持つものです。そのためには、セキュリティ、自動化、最適化が組み込まれたサーバーとシステムを最初から実装できる必要があります。今日の課題に合わせて設計され、専用に構築されたハードウェアとソフトウェアによるモダナイゼーションは、単に気の利いた一手というだけでなく、セキュリティとスケーラビリティを維持し、未来の備えるために不可欠なのです。

今すぐHPEとともにモダナイゼーションを行うべき3つの理由

1. パフォーマンスの向上とコストの削減

消費する電力からできる限り多くの成果を得る必要があります。HPE ProLiant Gen11およびGen12サーバーは、前世代と比べて最大65%少ない消費電力で、次世代のコンピュート性能を提供します。

2. スマート管理によるシンプル化

HPE Compute Ops Managementは、何千もの分散サーバーの設置、更新、監視を自動化し、複雑さを軽減します。

3. 未来のためのセキュリティ

内蔵のSilicon Root of Trust、量子耐性ファームウェア、信頼できるサプライチェーンにより、チップからクラウドまでのインフラストラクチャを保護します。

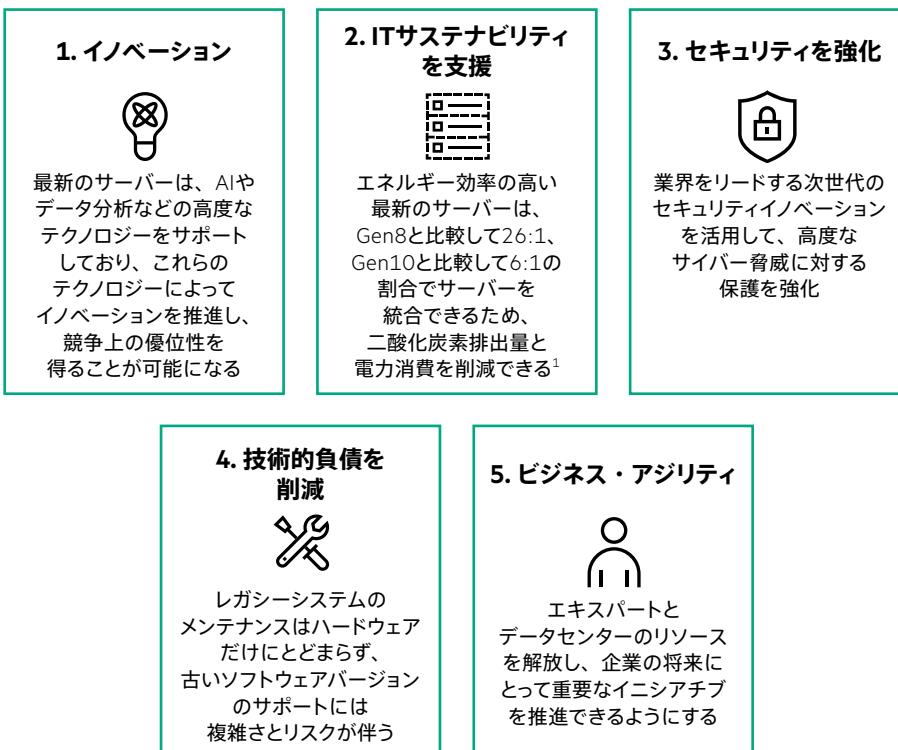


図1. サーバーのモダナイゼーションを優先すべき5つの理由

¹ HPE, 1-01-2025.

モダナイゼーションがもたらすイノベーション: レガシイインフラストラクチャが障害になる理由

老朽化したインフラストラクチャは、単に余分にコストがかかるだけではありません。真のコストは機会損失という形で起こります。運用、エネルギー、ソフトウェアの費用が増加するにつれて、レガシーシステムでは、AI、仮想化、エッジでのリアルタイムのデータ処理といった、価値を生み出す新しいワークロードのサポートがますます困難になります。更新が遅れるほど、イノベーション、自動化、急速に進化するビジネスニーズへの対応の能力が制限されます。

AI、仮想化、ワークロードのモダナイゼーションに対する需要が高まるにつれ、レガシーシステムでは対応できなくなります。HPEの拡張されたHPE ProLiantポートフォリオは、厳しいパフォーマンス要件、高度な自動化、優れた電力効率、シームレスなスケーラビリティのために設計された、フルスタックのコンピュートソリューションを提供します。クラウドからコア、エッジに至るまで、次世代のワークロードのための、信頼性と制御を備えた将来に対応する基盤となります。

レガシーから出発点へ: イノベーションを解き放つ

インフラストラクチャのアップグレードによるイノベーションの促進

HPE ProLiant Computeによるモダナイゼーションは、ITをコストセンターからイノベーションのエンジンへと変革する効果があります。Gen11およびGen12サーバーは、コア、クラウド、エッジのすべてで、AIを強化し、運用を合理化し、コストを削減するために必要なパフォーマンス、効率、自動化を提供します。より高速でアジャイルな未来のための、よりスマートなインフラストラクチャです。

HPE ProLiant Computeは、今日のITリーダーが先進性を維持するために必要とするパフォーマンス、効率性、柔軟性を提供するとともに、日常の運用を簡素化します。

HPE ProLiant Gen11およびHPE ProLiant Compute Gen12サーバーにアップグレードすることで、企業はパフォーマンスと予算の両方を最大限に活用できます。HPE ProLiant Computeは、パフォーマンスの向上、エネルギー効率の改善、日常の運用の簡素化といった分野で、ITの新しい可能性を拓きます。AIの導入、仮想化の見直し、データからのより多くの価値の実現がますます求められる中で、HPEの次世代サーバーのポートフォリオは、消費電力と運用の複雑さを軽減しながら最新のワークロードを処理できるよう設計された、セキュアでスケーラブルなプラットフォームを提供することで、ITチームがより少ないリソースでより多くのことをより速く実行できるよう支援します。

さらに、コンピュート、ストレージ、ネットワーキングを1つの合理化された自動化プラットフォームに統合することで、ハイブリッド環境全体でデータの価値を解き放ち、継続的イノベーションを促進することができます。

よりサステナブルで無駄のない未来のために

エネルギー使用量を減らし、コストを節約し、二酸化炭素排出量を削減しながら、ブランド力を高め、規制を常に先取りすることができます。サーバーインフラストラクチャの更新は有効な一手です。多数のサーバーを少数に統合し、電力と冷却のコストを節約できるため、ビジネスと持続可能性の取り組みにも良い影響があります。ワークロードを統合し、サステナブルな仕組みを採用することで、廃棄物を最小限に抑え、電気電子機器廃棄物を責任を持って管理できるだけでなく、スケーラブルで将来に対応する基盤を構築できます。

サステナビリティは、企業の評判を高め、ステークホルダーの関与を強化し、進化する規制へのコンプライアンスをサポートします。最新のサーバーを使用することで、重要な資源を節約し、二酸化炭素目標を達成し、環境に配慮しながら成長を促進することができます。

HPE ProLiant Gen11およびHPE ProLiant Compute Gen12サーバーは、サステナブルなITプラクティスをサポートするように設計されています。これらのサーバーは、従来のシステムと比べて年間消費電力を最大65%節約することで、電力使用量を抑え、データセンターの占有面積を縮小し、冷却コストを最大81%削減できます²。HPE Sustainability Insight Centerなどの組み込みツールは、二酸化炭素排出量の追跡と最適化に役立ちます。また、認定中古機器や資産アップサイクリングサービスなどのHPEの循環経済プログラムを通じて、ハードウェアの寿命を延ばし、電気電子機器廃棄物を削減できます。よりスマートな設計、優れた効率性、ライフサイクルサービスを備えたHPE ProLiantなら、サステナブルなITが現実になります。

² HPE, 1-01-2025, as compared against a 48-core estimated Gen12 system.

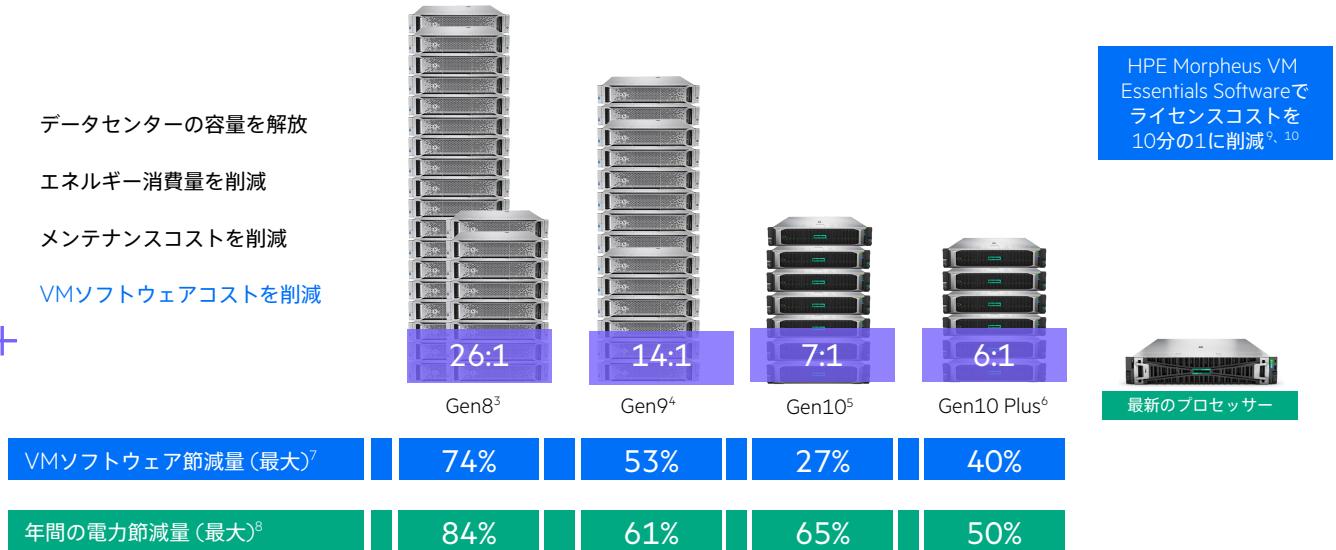


図2. HPE ProLiant Compute Gen 12 - サーバー更新の最も強力な理由

負債を切り捨て、HPE ProLiantでモダナイゼーションに踏み出しましょう。

古いサーバーは足手まといになり、コストの増加につながります。HPE ProLiantは、効率的なパフォーマンス、メンテナンスの低減、内蔵型セキュリティ、AIなどの最新のワークフローのサポートにより、技術負債の削減に役立ちます。将来に備え、イノベーションのための予算を確保しましょう。

HPE ProLiantコスト節約推定ツールの紹介

老朽化したサーバーのために、実際にどれくらいコストがかかっているのでしょうか。HPE ProLiant Computeでスマートに更新しましょう。最大7:1の統合と最大65%の電力節約により、コストを削減し、ITのサステナビリティをサポートします。HPE ProLiantコスト節約推定ツールを使用すると、節約可能な金額を予測できます。現在のサーバーの世代を入力するだけです。[今すぐ節約額を推定してみましょう。](#)

HPE ProLiant Computeと技術負債の削減

コストを削減し、アジャリティを高め、技術負債の負担からビジネスを解放しましょう。

時代遅れのインフラストラクチャは、リソースを浪費し、イノベーションを停滞させます。HPE ProLiantサーバーは、老朽化したシステムを最新の効率的でセキュアなコンピュートに置き換えることで、負担からの解放を実現します。アップグレードにより、レガシーハードウェアの非効率性が排除され、メンテナンスコストが減り、需要の変化に応じて拡張できる柔軟性が得られます。内蔵型セキュリティ機能が最新の脅威からの保護を実現し、AIと分析のサポートにより次世代のワークフローにも対応できます。HPE ProLiant Computeなら、技術負債を最小限に抑え、長期的な価値を最大化することで、将来に対応できます。

サーバー更新の理由としておそらく最も強力なのは、最大26:1の統合 (Gen8) により、データセンターの容量を解放し、エネルギー消費量を減らし、最大84%の電力節約を実現できることです。最新のHPE Computeは、Gen8と比較して最大84%少ない消費電力、Gen9と比較して14:1の統合、仮想化ソフトウェアの最大74%の節約¹¹により、ROIの向上を実感できます。さらに重要なのは、競争力の維持に必要な自動化、効率性、スケーラビリティによって次世代ワークフードに対応することで、将来に向けた余裕をビジネスにもたらすことです。

旧式のオペレーティングシステムやソフトウェアの維持に伴うリスクを軽減し、技術的負債を排除しながら、セキュリティの強化も実現できます。



^{3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10} SPEC and the names SPECCrate are registered trademarks of the Standard Performance Evaluation Corporation (SPEC). The stated results [SPECrate2017_int_base: #36693 (1) #36691 (2) #20893 (3) #37007 (4)] are published as of 01-01-2025, [see spec.org](#), and compared against a 48-core estimated Gen12 system. All rights reserved. (5) VM software savings per term of the license. Virtualization savings analysis based on core-based licenses as at April 9th 2025. The calculations were made by comparing to a Gen12 with 48 cores per socket. 10x costs savings is a comparison of HPE Morpheus VM Essentials Software versus VMware Cloud Foundation™. Savings do not include discounts and subject to change without notice. (6) Power savings based on the Thermal Design Power of the systems.

¹¹ HPE, 1-01-2025, made by comparing to a Gen12 with 48 cores per socket.

「まだ動いている」サーバーは実は取り残されている

サーバーが動作しているからといって、ビジネスに役立っているとは限りません。老朽化したインフラストラクチャは、エネルギーを浪費し、パフォーマンスを低下させ、イノベーションを遅らせます。HPEは、管理を簡素化し、リアルタイムインサイトを提供し、成長を加速するインテリジェントでスケーラブルなインフラストラクチャによって、お客様のモダナイゼーションを支援します。レガシーシステムのために未来が制限されるのは避ける必要があります。今すぐ節約額を推定してみましょう。

サーバー管理のスマート化はここから始まる

HPE Compute Ops Managementは、ハイブリッドコンピュートのためのクラウドネイティブ制御プレーンです。

- 分散環境全体の数千台のサーバーを、1つのコンソールから管理できます。
- 予測的インサイト、自動化、内蔵型セキュリティを備えたHPE Compute Ops Managementは、運用を合理化し、効率を高めます。
- すべての段階で一貫性と可視性を維持しながら、迅速な拡張を行うことができます。

最新の多層保護はチップから始まる

HPEは、HPE iLO 7に組み込まれた新しいセキュリティノベーションによって、セキュリティの基準を引き上げています。内蔵型セキュアエンクレーブは、根底からの多層防御を提供するもので、ハードウェアベースのポートを追加することで、サーバーの暗号化キーをより強力に保護します。

このようなセキュリティ階層化アプローチを備えたHPE ProLiant Computeは、**FIPS 140-3レベル3認定要件**を満たすように設計された**初めての業界標準サーバー**であり、物理的侵入とデジタル侵入の両方に対する耐性を強化します。

さらに、将来に備えるため、HPEは**NISTおよびCNSA 2.0標準¹²**に基づく**量子耐性ファームウェア署名**を初めてサポートし、将来の量子脅威からインフラストラクチャを保護します。これは、HPE iLO 7の**Silicon Root of Trust**によって実現されるもう1つの進歩です。

さらに、出荷の時点からインフラストラクチャのセキュリティを維持するため、HPE iLO改ざん監視と**信頼できるサプライチェーン**の組み合わせにより、サーバーおよびラックレベルの整合性保護が、配送プロセスのすべての段階に組み込まれています。

HPE Compute Ops Managementで制御を手に入れる

HPE Compute Ops Managementは、エッジからコアまでのインフラストラクチャ運用の簡素化とセキュリティ確保を目的として構築された、サーバーライフサイクル制御プレーンです。クラウドネイティブコンソールを通じて、ITチームは、マルチベンダー環境全体のすべてのサーバーの大規模な監視と管理を実行し、リアルタイムのアラートとAIによる予測的インサイト入手できます。

何千もの分散デバイスのオンボーディングでも、ファームウェア更新の自動化でも、サステナビリティ目標のための電力使用量の予測でも、HPE Compute Ops Managementは、インテリジェントな自動化を通じて生産性を向上させます。セキュリティバイオデザインを備えたHPE Compute Ops Managementは、MFA、ロールベースのアクセス、認定取得済みの接続によるゼロトラストアプローチを採用しているため、自信を持って管理を行い、対応を高速化し、サーバー群全体のリスクを軽減することができます。

HPEとともに次のステップへ

現代のITは急速に進化しており、サーバーフットプリントも同様に進化する必要があります。HPE ProLiant Gen11およびHPE ProLiant Compute Gen12サーバーとHPE Compute Ops Managementを組み合わせることで、自信を持ってモダナイゼーションを進めることができます。

HPE ProLiant Computeは、強力なパフォーマンスに加えて、インテリジェントな自動化とアダプティブ・インフラストラクチャを提供することで、企業のスピード、スマートさ、セキュリティの向上に寄与します。最大2倍のI/O帯域幅、開発から廃棄までの強化されたセキュリティ、AI主導の管理ツールを備えたHPE ProLiant Computeにより、ITチームは次世代のパフォーマンスを獲得し、消費電力を削減し、内蔵型セキュリティとインテリジェントな自動化によって運用を合理化できます。これにより、リアクティブからプロアクティブへと移行し、コストを削減しながらイノベーションを加速できます。

これは単なる更新ではなく、戦略的な飛躍です。将来に対応し、エネルギー効率に優れ、管理が容易なHPE ProLiant Computeは、ハイブリッドの世界で企業が成功するために必要なアジャリティ、制御性、拡張性を提供します。

¹² NSA's Future Quantum-Resistant Algorithm Requirements for National Security
nsa.gov/Press-Room/News-Highlights/Article/Article/3148990/nsa-releases-future-quantum-resistant-qr-algorithm-requirements-for-national-se/, CNSA 2.0 FAQ

media.defense.gov/2022/Sep/07/2003071836/-1/-1/0/CSI_CNSA_2.0_FAQ_PDF/, CNSA 2.0 FAQ

HPEについて

HPEは、あらゆる場所にあるすべてのデータから価値を引き出し、組織の成果を加速させるEdge-to-Cloudカンパニーです。数十年にわたって未来を再考し、イノベーションによって人々の生活や働き方を進化させてきたHPEは、すべてのクラウドとエッジで一貫したエクスペリエンスを実現する、他にはないオープンでインテリジェントなテクノロジーソリューションを提供することで、お客様が新しいビジネスモデルを開発したり、新たな方法で連携したり、運用のパフォーマンスを高めたりできるようサポートしています。

詳細はこちら

HPE.com/jp/ja/solutions/proliant-compute

[HPE.comにアクセス](#)

今すぐチャット

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development L.P. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パッカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

VMware Cloud Foundationは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc.とその子会社の登録商標または商標です。すべてのサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

a50013492JPN

HEWLETT PACKARD ENTERPRISE

hpe.com/jp